

作成年月日	令和2年7月16日
作成部局名	健康福祉部医務課

新型コロナウイルス感染症に係る入院医療体制の強化について

本県では、新型コロナウイルス感染症に係る入院医療体制について、一般医療とのバランスも考慮し、重症患者の医療に支障が生じないよう配慮しつつ、新規陽性患者の発生状況に応じて、フェーズごとに体制を強化するシナリオを用意し、機動的な対応を行うこととしている。

今般、感染がさらに拡大する局面も見据え、国の新型コロナウイルス感染症専門家会議で提示された「新たな流行シナリオ」も参考とし、入院医療体制を強化するシナリオを現計画に追加することとした。

【フェーズに応じた入院医療体制の改定】

さらに感染が拡大するフェーズを「感染拡大期2」とし、「650床（うち重症120床）、700室」体制とするシナリオを現計画に追加する。

	感染小康期	感染警戒期	感染増加期	感染拡大期1	感染拡大期2(※) (今回追加)
目安 新規陽性 患者数 (1週間平均)	10人未満	10人以上 (警戒基準)	20人以上	30人以上	40人以上
体制構築 の考え方	15人/日の新規患者 数発生に対応	20人/日の新規患者 数発生に対応	30人/日の新規患者 数発生に対応	40人/日の新規患者 数発生に対応	55人/日の新規患者 数発生に対応
病床数	200床程度 うち重症40床程度	300床程度 うち重症50床程度	400床程度 うち重症70床程度	500床程度 うち重症90床程度	650床程度 うち重症120床程度
宿泊療養	200室程度	200室程度	300室程度	500室程度	700室程度

※ 「新たな流行シナリオ」(以下参照)に基づき、本県において、①「生産者年齢人口群中心モデル」、②社会への協力要請前の実効再生産数「1.7」、③社会への協力要請を行うタイミング「基準日から1日後」、により試算

(ピーク時の患者数総数：1,294人、入院患者数：642人(うち重症93人)、宿泊療養者数：652人)

【参考】「新たな流行シナリオ」について

・今後想定されるピーク時の患者数を、都道府県の実情に応じて試算するために新型コロナウイルス感染症専門家会議(令和2年6月19日)において提示されたシナリオ

・各都道府県で次の条件を選択

① 人口構成・分布を勘案した2種類の推計モデル：

- ・大都市圏を典型とする「生産者年齢人口群中心モデル」
- ・人口規模が小さく高齢者の多い都道府県を典型とする「高齢者群中心モデル」

② 社会への協力要請前の実効再生産数：「1.7」又は「2.0」

③ 社会への協力要請を行うタイミング：「基準日から1日後」から「基準日から7日後」

〔基準日：人口10万人当たりの週平均新規感染者数2.5人となった日。本県の場合、1週間平均の新規陽性患者数20人に相当〕